

世界農業遺産関連授業

平成25年5月30日、石川県七尾市で開催された国際連合食糧農業機関（FAO）の国際会議において、大分県の国東半島宇佐地域が世界農業遺産に認定されています。「くぬぎ林とため池がつなぐ農林水産循環」が対象です。今回、1年生でGTとして南文明様（宇佐公民館指導員）をお招きし、南一郎平の功績についてお話を聞く機会を得ました。駅館川右岸の台地上に広がる宇佐平野への灌漑水路「広瀬井出」の建設に、一郎平は私財を投じて1873年（明治6年）に完成をみています。今もその恩恵を受けながら宇佐中校区の標高が高いところでも水田耕作が行われています。南先生の博識ぶりに驚きながら、子どもたちは真剣に聴き入っていました。実際に「広瀬井出」の見学にも何名かの代表生徒で訪れる予定にしています。一連の学んだ事をまとめ上げ、年が明けた1月14日（土）アスト国東で開催予定の世界農業遺産中学生サミットで代表生徒がポスターセッションの形で発表するようになっています。



先人の もたらす恵みで 今があり